

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

教室にはってある地図も、駅前の案内図も、たいていは上が北になっている。私たちはそれを当たり前だと思っている。しかし、少し考えてみてほしい。地球は丸い。宇宙から見れば、上も下もない。地図の上を北にしなければならぬ理由は、自然の側にはどこにもないのだ。

実際、昔の地図には、上が東のものや、上が南のものがあった。太陽がのぼる方角を上にした地図もあれば、自分たちの国の中心を上にした地図もあった。どれも間違いではない。地図をかく人が、何を大切にしているかによって、上の向きは決まっていたのである。

では、なぜ今は北が上なのか。理由の一つは、船の道具にある。方角を知るための磁石は、いつも北を指す。海の上で自分の位置を確かめるとき、磁石が指す向きと地図の向きがそろっていれば、頭の中で回さずにすむ。こうして、船で使う地図は北を上にするようになり、それが広まって、今の形になったと言われている。

つまり、「上が北」は、自然の法則ではなく、人が決めた約束事なのだ。約束事だから、別の約束をしておかまわぬ。たとえば、駅の案内図には、上を「自分が向いている方向」にしたものがある。北ではなく、自分の向きを上にしたほうが、初めての場所では分かりやすいからだ。

私たちの身のまわりには、こうした約束事がたくさんある。道路の左側を走ること、時計の針が右回りであること、文字を左から右へ書くこと。どれも、そうでなければならない理由が自然にあるわけではない。けれども、みんなが同じ約束を守るから、話を通じ、物が動く。「当たり前」の多くは、誰かが決め、みんなが受け入れた約束なのである。その約束の中身を知ると、当たり前前の景色が、少しちがって見えてくる。

（この問題のための書き下ろし）

問一 「地図の上を北にしなければならぬ理由は、自然の側にはどこにもない」とありますが、筆者は「上が北」を何だと述べていますか。本文中から十字以内で抜き出しなさい。

人が決めた約束事

問二 第二段落で、筆者が昔の地図の話を出した理由として最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 昔の地図は正確でなかったことを示すため。
- イ 上の向きは地図をかく人が決めていたことを示し、北が上なのは自然の決まりではないと分かってもらうため。
- ウ 東や南が上の地図のほうが、今の地図よりも便利だと主張するため。
- エ 地図の歴史が長いことを読者に伝えるため。

イ

問三 船で使う地図が北を上にするようになった理由を、筆者は磁石の性質から説明しています。その性質を本文中から十字以内で抜き出しなさい。

いつも北を指す

問四 駅の案内図に、上を「自分が向いている方向」にしたものがあるのはなぜですか。「～から。」に続くように、三十五字以内で説明しなさい。

し初め、
たほの
うが場所
が分では、
かり北
やすより
い自
分の
向
きを
上
に

問五 最後の段落で筆者が述べていることとして最も適切なものを、次のア～エから一つ選びなさい。

- ア 約束事はだれかが勝手に決めたもので、守る必要はない。
- イ 身のまわりの「当たり前」の多くは人が決めた約束であり、その中身を知ると当たり前が違って見える。
- ウ 道路や時計の決まりは自然の法則なので、地図とは別に考えるべきだ。
- エ 約束事が多すぎるので、減らしていくべきだ。

イ

【中I】国語 文章問題 説明文 5 答えと解説

問一（二十点） 答え：人が決めた約束事

解説：第四段落の「『上が北』は、自然の法則ではなく、人が決めた約束事なのだ」が根拠。「自然の法則」と対にして述べている。

問二（二十点） 答え：イ

解説：第二段落の最後「地図をかく人が、何を大切にするかによって、上の向きは決まっていた」が根拠。「どれも間違いではない」と述べているので、アは合わない。

問三（二十点） 答え：いつも北を指す

解説：第三段落の「方角を知るための磁石は、いつも北を指す」が根拠。磁石の向きと地図の向きをそろえると、頭の中で回さずにすむ。

問四（二十点） 答えの例：初めての場所では、北より自分の向きを上にしたほうが分かりやすい

解説：第四段落の「北ではなく、自分の向きを上にしたほうが、初めての場所では分かりやすいからだ」が根拠。約束事だから別の約束をしてもよい、という流れの中の例。

採点のポイント：① 自分の向きを上にしたほうが分かりやすい ② 初めての場所では（という条件）（二つそろって満点、一つなら半分）

問五（二十点） 答え：イ

解説：「『当たり前』の多くは、誰かが決め、みんなが受け入れた約束なのである」「当たり前前の景色が、少しちがって見えてくる」が根拠。アは「みんなが同じ約束を守るから、話が通じ、物が動く」と逆。